

U 協 近 畿 通 心 ～ U 協 を 使 い 倒 し ま し ょ う ～

【 は じ め に 】

近畿事業推進部の川畑です。

1月の「経営者のためにZoom体験講座」に続き2月は「経営者のためのGoogle体験講座」を28日に開催します。2月22日には2023年サイバーセキュリティ対策講座を協会内研修も兼ねて実施しました。警視庁、総務省にも講演して頂きました。2月1日から3月18日は内閣府のサーバーセキュリティ月間でもあります。

この間に情報セキュリティのことを再確認したいですね。

頼んでいたジャガイモが、6種類やっと届きました。借りている山上の畑に妻と植えてきました。これから芽がでて葉っぱがでてきたら芽欠き、土寄せとこれからの成長が楽しみです。山の上で気温が低いので今回はマルチか（黒いビニールの覆いかけ）けをしました。種から育てている玉ねぎ、キャベツも順調に育っています。週末に妻と畑の様子を見に行き、少し手入れするのが愉しみになっています。写真のよう場所でとても気持ちのいいところです。農業指導員の方も、とても親切で栽培のこともいろいろ教えて頂いています。春には田舎の鹿児島県伊佐でも、畑を再開しようと考えていますのでとても参考になります。時々、隣の畑の方から大根などを頂いて、妻と喜んでいます。



西宮甲山の近くに借りている畑の様子です。この日は風が冷たかったですが、日が射し気持ちのいい朝でした。

今、来年度の事業計画を策定している中で経営者のための〇〇講座や、セミナーなどを増やしていこうとしています。いろんなことを企画するのは楽しいですね。会員さんに喜んでいただき、お役に立てるコンテンツやサービスを考えています。4月号で紹介したいと考えています。

3月は、近畿6支部の事務局長と来年度の事業計画についてヒアリングを予定しています。毎年、年度開始前に意見交換して取り組んでいます。認識合わせはとても大事ですから。

また3月には4年ぶりに本部理事会、役員懇談会が開催されます。NTTの島田社長の特別講演も予定されています。今年度の締めくくり、来年度の準備と忙しいですが、愉しくやっています。

今月もU協近畿通心を愉しんでいただけると嬉しいです。

【 I C T 用 語 豆 知 識 「シャドーIT」をご存じでしょうか 】

「シャドーIT」とは、**企業で使用許可をしていない個人所有のデバイスや外部サービスを利用して業務を行なうこと**です。

シャドーITの例には、従業員が会社に無断で個人契約のクラウドサービスをデータ共有に利用したり、私用のスマートフォンやタブレットなどのIT機器を使用したりすることが挙げられます。

シャドーITが発生する理由には、**業務利用が許可されているデバイスに対し、従業員が不便さを感じている**ことが挙げられます。近年、テレワークを導入する企業も増加しており、社外で働く**従業員が自分で効率的な働き方を追求した結果**、シャドーITが生じているケースもあります。

企業の管理外のデバイスやサービスは、適切なセキュリティ管理がされていないことが多く、**情報漏えいなどの重大なトラブルを招く危険性もあります**。シャドーIT対策として、スマートフォンなどの端末を支給したり、社内のセキュリティ意識の向上に取り組んだりする企業もみられます。

シャドーITと似た意味の言葉にBYOD（Bring Your Own Device）があります。

BYODは個人所有のデバイスを業務利用することを表しますが、BYODは企業の使用許可を得ているのに対し、シャドーITは無許可でデバイスを利用しているという違いがあります。

貴社ではシャドーITがないか、一回点検してみてください。あった場合は、禁止だけでなく、業務の不便さ解消という面も確認が必要ですね。

【ユーザ協会の得意技！ こういう蓄積・ノウハウがあります。岡部達昭先生編】

先月は第101回「好かれる」（2022.8.15）をご紹介しました。
今回は第102回「励ましの言葉」（2022.9.15）をご紹介します。

人生80年、その一生は決して平坦ではありません。喜びもあれば悲しみもあります。成功もあれば失敗もあります。病気やケガ、仕事上や人間関係のトラブルもあります。それでも、そうした挫折や失意の時を、私たちは乗り越えて生きてきました。今振り返ってみますと、その陰には、私を励ましてくれた友人知人の言葉、何人もの先達という言葉があったことを、ありがたく思い出します。

「無駄なことは何もない」

これは、もう40年も前に出会った言葉です。お坊さんの法話に出てきた言葉で、出典も定かではありません。しかしその頃、私はある大きなイベントに取り組んでおり、それを主催する他セクションのポスト長との折り合いが悪く悩んでいました。ことあるごとに彼の言動が澁（おり）のように引っかかり、かなりなストレスとなっていました。「**人生に無駄なことは何もない**」という言葉を知ったのは丁度その頃でした。不思議なほど気持ちがスーッと楽になりました。

それから40年、その一言で私の人生観が変わり、生き方も変わったのです。

安易な励ましの言葉が多い

悩んでいる人を励ます時には、「大変だろうけどがんばってね!」「大丈夫だよ。必ず良くなるから」「明日になれば明日の風が吹くさ」。日本人の励ましは、こうした安易な言葉をおざなりに言って済ませる傾向があるように思います。**励ましの前提は「共感」**です。落ち込んでいる人に届けるのは、言葉ではなく心です。**心に刺激を受けた時に、人は立ち直ります**。前述の「無駄なことは何もない」のように、**心を刺激することが必要**でしょう。そのためには、安易な励ましを言う前に、まず何に悩み苦しんでいるのか、**心の傷をしっかりと聴いてあげる**ことだと思います。

「あなたは自分が運の良い人間だと思いますか？」

松下電器（現パナソニック）の創業者、故・松下 幸之助氏は、自社の就職試験の面接で、「あなたは自分が運の良い人間だと思いますか?」と尋ね、運がよいと思っている人間だけを採用したそうです。プラス思考の考え方、楽観論のほうが、良い結果をもたらすと言うのが、経営の神様、松下氏の、人物評価の一方法だったのでしょ。

日本電産の創業社長、永守 重信氏も「**人間の能力の差はあっても5倍、しかし意識の差は100倍ある**」と言っています。**部分の能力差を比べて一喜一憂したり、悔やんだりするよりも、確かな意識、考え方を磨くことのほうがはるかに大事だ**、と教えているのです。部下にとっては、やる気の起こる素晴らしい励ましの言葉です。

この連載の初期に、「エコーの法則」というヒンズーの経典にある言葉をご紹介したことがあります。「**意識が行動をつくる、行動が習慣をつくる、習慣が人格をつくる、人格が運命をつくる**」。

博学の野球人、故・野村 克也氏ら、多くの著名人に気に入られたこの言葉は、一頃かなり有名になりましたが、ここでもすべては意識に始まると説いています。

「悪いことにはきっと、良いことがくっついている」

これは、「ふぞろいの林檎たち」などのテレビドラマの名作で知られるシナリオライターの山田 太一氏の言葉です。人生は何ごとともどう転ぶか分かりません。校歌を作詞したご縁で招かれた小さな新設の小学校の運動会。あいにく土砂降りの雨の中で、泥んこで競う全校リレーに思いがけない感動のドラマがありました。山田氏は、**マイナスと知っていることが、実は豊かなプラスを持っているんだ**、と書いています。その気持ちを、別のドラマのお婆さんの台詞にしたのが表題の言葉です。大評判になりました。

感情の世界はもっと深くて広い

山田氏は、次のようにも言っています。「言葉ですべてを伝えようとする。それが近代社会というものです。互いに言葉をぶつけ合い、それだけで分かり合おうとしたり、あるいは自分の考えを主張しようとする。もちろんそういう部分は必要ですが、**感情の世界はもっと深くて広い**のです」。

私たちは、日本という豊かな言葉の国に生まれ、そして育ちました。その言葉は、暮らしの中で、親から子に引き継がれ、子は成長とともに、広い社会で言葉を成熟させてきました。

その流れが、今大きく変わり始めています。励ます言葉も先行きは不安です。

今は進むIT社会の便利さを享受しつつも、豊かで情のある言葉の世界に、しっかり踏み止まりましょう。

【ユーザ協会の得意技！働き方改革と働き手不足時代の救世主サービスロボットの可能性】

前回は、「人の生活、仕事を支援するサービスロボットの進化の歴史（2022.9.15）」をご紹介しました。今回は「家庭でも、ビジネスでも。さまざまなシーンで活躍しているサービスロボット（2022.10.17）」をご紹介します。

前号で解説した通り、日本におけるサービスロボットの開発は、1950年代から長い歴史を経て発展してきました。サービスロボットは今後、人間の生活を一変させる可能性を秘めています。

キーワードは「人を支援する」です。第2回の今回は、現在活躍中のさまざまなサービスロボットを紹介します。

家庭で活躍するサービスロボット

まず家庭内のサービスロボット（以下、ロボット）から見ていきます。

代表格は**清掃ロボット**です。以前は「障害物に当たったら反対方向に行く」というのを繰り返すものが多かったのですが、最近では**AIによって自動的に部屋のマップを作成し、効率的に掃除をする**ようになっています。

また、**カーテンロボット**も存在します。カーテンの端っこを同ロボットに取り付けると、設定した時刻にロボットがカーテンレール上を左右に動き、カーテンを開閉します。

この他、**コミュニケーションロボット**も無視できません。もともと「**人との対話ロボット**」という意味でしたが、昨今は「**いかに人と相互に触れ合うか**」が注目されています。

有名なのは、ソニーの犬型ロボットである「**aibo**」ですが、GROOVE X社の「**LOVOT**（らぼっと）」というロボットも人気です。LOVOTは、ゆるキャラがペットになった感じのロボットです。ペットが飼えない家庭などを中心に支持を得ています。

業務で活躍するロボット

次は**業務利用のロボット**についてです。今後しばらくの間はこの「業務利用」がロボットの主戦場になります。

最も多くロボットが利用されているのは物流倉庫です。

棚を運ぶロボットが通販大手のAmazonを中心に多く利用されています。人が棚まで移動するのではなく、ロボットが棚を持ってきてくれるのです。

それまでは商品を棚まで取りに行くため、作業員は毎日数キロもの距離を移動していましたが、ロボット導入により作業員が動く必要がなくなりました。

物流ではこのほかにも、**在庫確認ロボット**や**商品の運搬ロボット**などが多く使われています。

また、**清掃ロボット**も活躍しています。業務用清掃ロボットは、家庭用よりも大きいのですが機能はあまり変わりません。吸い込むパワーやゴミを溜め込む容量が大きくなったものと考えればいいでしょう。

コロナの影響で清掃員が出社できなくなったことを背景に、コロナ禍での利用が大きく伸びました。最近ではバリアフリーの建物が増え、ロボットの動きやすい環境が整ってきており、清掃ロボットは今後数年間で「当たり前」になると予測されます。

医療向けロボットもコロナ禍で躍進しました。Intuitive Surgical社の「**ダヴィンチ・システム**」という**手術用ロボット**は、医者が遠隔から操作して手術を行うロボットです。

このような遠隔操作型ロボットを、「**テレプレゼンスロボット**」と言います。

医療向けではそのほかに、**院内搬送ロボット**も多く使われています。搬送する物は多岐にわたり、入院患者用の食事や薬、書類などが自律運搬されています。

昨今、急速にロボットを活用し始めたのはフード業界です。

配膳ロボットは食事をテーブルまで自律的に配膳し、**調理ロボット**はオーダーされた食事を自律的に作ります。スパゲッティや蕎麦を茹でるロボットは人間が使うストレーナー（茹でる時に使う、ざる）を使って茹でたり揚げたりします。そのほか、**ピザを焼くロボット**、**クレープを作るロボット**などもあります。調理業務はいくつかの業務工程に分けることができ、工程の多くをロボット化できますので、今後はますます活用されていくことでしょう。

業務利用のロボットは上記で挙げた業界のほかに**農林水産業**、**建設業**などでも活発に利用され始めています。

前号でも述べましたが、**ビジネスシーンでのロボット活用は生産効率を大きく向上させ、働き方を大きく改善します**。

また家庭内ロボットは人々に、家庭における時間的、心身的な余裕を与え、結果的に家庭の外で働ける人の数と生産性を向上させます。つまり**ロボット活用は経済活性の鍵である**と言えるのです。

【お役立ち情報：経営者のためのZ o o m体験講座を開催しました。】

ICT活用推進のため経営者向けの体験講座を1月23日（月）に実施しました。きっかけは、「**Z o o m**って参加したことはあるけど、主催したことはないんだ。自分で使えるともっといろいろな業務への活用もできるんだけどね。忙しい。自分でわざわざ調べるのもね。」という経営者の方の話でした。

そこで、なにか経営者のお役にたてないかと思い、経営者視点での体験講座でした。最初に「経営者のためのZ o o m体験講座（初級編）」を開催しました。

この講座のポイントは**経営者の視点でお伝えする**ことです。Z o o mの使い方は、ネットで探せばたくさん情報があります。

しかし、忙しい経営者にとっては、それを調べる時間もままならないのではないのでしょうか。そこで当協会が、何かできないかと企画しました。当日は、北海道から鹿児島までの経営者の方にご参加いただきました。少しずつ知っていただけると嬉しいです。

当日のスケジュールは、以下のとおりで体験も含め1時間の講座でした。

1. はじめに
2. We b会議のマナー
3. Z o o m会議でできること
4. Z o o m会議の予約方法
5. Z o o m会議の立ち上げ、終了、録画
6. 会議を開催してみよう
7. まとめ

まず最初にお伝えしたのは、**ICT活用で大事な経営者の心得**でした。

- ①**まず自ら触れてみる（＝担当任せにしない）**
- ②**なにができるのか経営者視線で概略を掴み、自社のどこに使えるのかをイメージする**
- ③**自社でトライするしかけを考える（大枠）⇒ やって合わないなら次の手を考える**

講座終了後、参加者限定で本講座の録画が視聴できるようにしました。ここもICT活用です。講座終了後、「知らない機能を学ぶことが出来、有意義な時間でした。」「大きなきっかけと学びをいただきました。知識とスキルを増やし今後の業務に活かして参ります。」「その後、すぐにZ o o mでの研修があり、スムーズに実施できました。」「翌週、お客様との打ち合わせですぐ使えました。」など嬉しいメールを頂きました。

忙しい経営者の方のICTリテラシーが少しでも向上されていたら、大変嬉しいです。

頂いたアンケート等も踏まえ、この講座もブラッシュアップしていきます。

経営者のための〇〇講座は、2023年度以下の通り計画しています。1カ月前までには各支部のHPにてご案内いたしますので、よろしければご参加ください。

< 2023年度の講座予定 - いずれも1時間 >

- 経営者のためのZ o o m体験講座（初級編） 5月 11月
- 経営者のためのG o o g l e体験講座（初級編） 9月 3月
- 経営者のためのG o o g l e体験講座（実践編） 7月 1月
- 例) G o o g l e F o r mで問い合わせフォームを作ってみよう
- 経営者のためのD Xリテラシー講座 6月 12月
- 経営者のためのI C Tリテラシー講座 8月 2月
- 経営者のための情報セキュリティ講座 4月 10月



【お役立ち情報：デジタル化のヒントを紹介します。】

D Xというワードを、よく聞くようになりました。以前、D Xの3ステップについて、ご紹介しました。今回はその第一ステップ、デジタル化の中で紙のデジタル化のヒントをご紹介します。

テレワークもかなり進んでいますね。2022年内閣府の調査によると全国で32.2%、東京23区で55.2%、情報通信業は78.1%とあります。

テレワーク時も、デジタルデータにしてあるととても助かりますね。私がそうです。

電子帳簿保存法やインボイス方式への対応もあり、紙のデジタル化はうまくやりたいですね。Word、Excel、PDFなどのように最初からデジタル化されているものならいいのですが、FAX、紙の見積、請求書等は、電子化も面倒とお考えの方もいらっしゃるのではないでしょうか。

今回は、この紙のデジタル化（ペーパーレス化）について考えてみましょう。みなさんの参考になると嬉しいです。

ペーパーレス化のメリット

- 文書検索が容易になる
- 紙代・印刷代・保管スペースなどコスト削減できる
- 修正・共有が容易になる
- 情報漏えい・紛失のリスクが減らせる
- 環境保護・SDGsに取り組むことで企業イメージが向上する

ペーパーレス化が進まない理由

- 紙での提出が規定になっている
- 慣れ親しんできたオペレーション変更によるストレスがある

ペーパーレス化の流れ

- ①目的を明確にして、経営層を巻き込んだ全社プロジェクトとして進める
- ②ペーパーレス化対象の紙媒体を決める
- ③対象とした紙媒体の関係者を巻き込む
- ④計画を立ててペーパーレス化を推進する

ペーパーレス化に有効なツール

- FAX複合機 → FAXを自動でPDFにしてくれるものもあります。アプリも。
- スマホアプリ → 手書きをカメラ読み込みしてPDFにするものもあります。
- AI-OCR → AIが手書きをデジタル化してくれます。クラウド型もあります。
- クラウドストレージ → インターネットサービス附属や無料のものもあります。
- Officeソフト → PDFファイル出力ができます。
- 文書管理システム → 文書作成から廃棄まで一元管理するシステムです。

ペーパーレス化の効果

- モバイルからも確認できるので承認スピードが早くなる
- 書類の保管スペースが減り、紙代や印刷代もなくなったのでコスト削減できる
- 申請業務にかかる時間が減って、より付加価値の高い業務へ専念できる
- 属人的になっていた確認フローが標準化されるため漏れなく必要な人へ確認依頼ができる
- これまで紙でできなかった、他システムとの連携が可能になる

(出典：Smart DB <https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/learning/le201224/>)

<原稿大募集しています！>

あなたの知識や経験等が他の会員さんのお役に立てば、嬉しいですね。
いつでも待ってま〜す。写真等も大歓迎です。

送り先：f.kawabata@jtua.or.jp (川畑) までファイル(A4)を送ってください。

セキュリティの最新情報も
アップデートできます。
支部HPにて絶賛募集中！

あの講話がこの価格で聞けるなんて。

ユーザ協会
限定特別価格

BBT研修プログラムはコチラから



撮影/大田真三(小学館)

この値段でこのパフォーマンスにびっくりです。

あの大前研一さん率いるBBTの研修がユーザ協会会員様特典として利用いただけるようになりました。

BBTのコンテンツの中から、協会会員様のために特に選びました。
「見て学ぶ」と「参加して学ぶ」があります。

見て学ぶ

ビジネス講義映像

ブロードバンド・ラーニング(BBL)

詳細・お申込みはこちら



<経営者講義 - 19 講座>

定価33,000円(税込)を当協会
会員様は**1割引29,700円(税込)**で
ご視聴いただけます。

どの講座も大前研一さんの講演以外に業界の最先端に行く経営者の
講演が盛りだくさん！ これからの経営のヒントがたくさんあります。

参加して学ぶ

詳細・お申込みはこちら

5,500円(税込)
でご視聴いただけます。



みんなで脳に汗をかこう！！

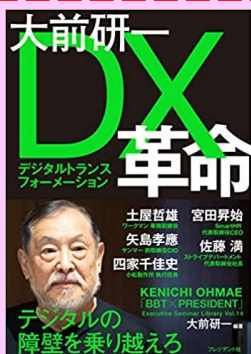
ビジネスアウトプットGYM

いつでも学べる動画で「インプット」し、
LIVEトレーニングで「アウトプット」

まるでスポーツジムに通う感覚で、
ビジネススキルをオンラインで鍛える

詳細はこちら！

<https://wstg-bbt.staging-bbt757.com/corporate/sd/063jtua/index.html>



<近畿 6 支部限定プレゼント>

新規ご入会様、既存会員様

本特典ご利用で「DX革命(大前研一著)」を
プレゼントいたします！

後日、連絡責任者様へ送付させていただきます。